

教育的価値	具 体 の 項 目	教育課程
2【かかわる】	⑪【ボランティア】 他の人や地域社会に役立つことを自分から進んで実践し、他人の喜びを自分の喜びとして共感する。	教科（家庭・社会） 総合的な学習の時間 学活
3【そなえる】	⑫【東日本大震災の様子と被害の状況】 平成 23 年 3 月 11 日に発生した、東日本大震災津波の様子と被害の状況について理解する。	

【題材】

- (1) 知って考えよう ～東日本大震災津波～
 (2) 関わって考えよう ～野田村仮設住宅の方々のこと～

【対象】

- ・ 全校児童（107 名）

【実践の概要】

- (1) 1 学期 三陸鉄道北リアス線「震災学習列車」に乗車して、津波のことや震災被害の状況・復興の様子を知る。
 野田村にある 5 つの仮設住宅を訪問して、住宅に暮らす方々からお話を伺う。
 これから、自分達ができることを考える。
- (2) 2 学期 学年別交流
 3 年生…下安家地区の方々との交流・野田の塩作り見学と体験
 4 年生…野田中仮設住宅の方々との交流・十府ヶ浦海岸の見学
 5 年生…米田地区の方々との交流
 6 年生…野田中仮設住宅の方々との交流

【実践の詳細】

(1) 1 学期の学習活動

①



津波が押し寄せた時のまちの様子や当時の新聞記事、現在の町や仮設住宅の方々への取材写真などを掲示。

②

震災前と震災後の町の様子をパネル写真で見て、津波の力を知りました。

③



手作りのあじさいカードをもって仮設住宅を訪問しました。

- ① 三陸鉄道が全線開通したことを紹介しながら、「東日本大震災津波」とその後の沿岸地区で暮らす方々の様子について、掲示を通して改めて考える機会を設けた。「自分達にできることは何だろう」「行ってお話がしてみたい」…直接見ることお会いすることで、感じ考えることを大切に学習を進めた。（生活科・総合的な学習の時間・学活）
- ② 昨年度「津波出前授業」を受け、津波のしくみや当時の様子を学習した上での「震災学習列車」ではあったが、ガイドさんの体験と町の変わりように驚く児童たち。後の感想に記す。
- ③ 100 世帯が暮らす野田中仮設住宅に訪問。はじめに、自治会長さんから震災の日のこと、津波でんでんこのことをうかがった。6 / 13 に訪問した低学年は、あじさいカードを持って行った。高学年は、6 / 25 に野田村にある 5 つの仮設住宅を訪問。ちぎり絵の団扇を渡しながらかお話をすることができた。

帰校後、児童は「野田村訪問」でお世話になった社会福祉協議会の方々・自治会長さん・ガイドさんにお礼の手紙を書きながら、感じたこと考えたことを整理し、2 学期の学習や活動について学年ごとに話し合った。（総合的な学習の時間・学活）

(2) 2学期の学習活動

3, 4年生テーマ“食・福祉・絆”…命の尊さや食の役割、家族や友だちとの絆の大切さを体験を通して理解し、様々な人との関わりの中で共に生きようとする態度を養う。

3年生 社会科の学習や関連させた「村内めぐり」を通して自分達の村のよさを知った3年生が、野田村は塩作りが盛んなことを知る。「教えていただく」関わりや「楽しむ」関わりをもつため、花壇で育てたマリーゴールドの種を持って2度目の訪問を計画。



下安家地区の方々と輪投げをして楽しみました。おばあさんの輪が見事に入りました。この後、私たちの名刺とマリーゴールドの種を渡しました。



塩工房にお邪魔して4日間かけて作る野田村自慢の塩を見せていただきました。たくさんの時間と手間がかかっていました。

(社会・総合的な学習の時間 副読本の活用 P14~15、P18~19)

4年生 日中、仮設住宅で過ごす方々は高齢の方が多く、学校近くの老人ホームの方々との交流を野田村でもやれるのではないかと考え「一緒にクリスマスリースを作りましょ！」を計画。あらかじめメッセージを書き込んだカードを持って訪問。



折り紙を使ってポインセチアを作ります。「ここを折ってください」「こう？」…できあがったリースにメッセージカードをつけてプレゼントしました。



「心と体を温かくしてもらいたいね」お茶とポットを準備して、九戸村の特産あま茶をみんなで飲みました。

(総合的な学習の時間 副読本の活用 P30~31)

5, 6年テーマ“自然・社会・絆”…自然に対する畏敬の念や社会との関わりの中で生きること理解し、共に歩もうとする態度を養う。

5年生 「僕たちができることって何だろう？」という課題で関わり方を話し合い、自分達のよさや自分達の学校の特徴をふり返る。「元気・明るさ・人懐っこさ!」「学校の伝統的な活動」を生かせる活動…剣舞・鼓笛・相撲、一緒にお話したいという願いで訪問。



「村相撲大会のチャンピオンがいます!」相撲を披露したらすごく喜んでくださいました。学校の伝統になっている剣舞を踊り、鼓笛の演奏をしました。



この日は社会福祉協議会主催のサロン会。一緒に参加して、いろんなお話をしながら箱作り。家ごと津波に流された方のお話を聞き驚きました。

(総合的な学習の時間 副読本の活用 P30~31)

6年生 初夏の訪問ではちぎり絵の団扇に「涼しくなるね～」と喜んでいただいた。仮設住宅は夏に暑く冬に寒いとのこと。冬に温くなる物…九戸名物「かつけ」を紹介しよう。肩もみとおしゃべりで心を通わせたい。周辺のゴミ拾いしよう。



「初めて食べるよ」「にんにく味噌がいいねえ」「体が温まるよ」など九戸の郷土食で話が弾みました。お湯に具材を入れるときは手伝っていただきました。



これまで住んでいなかった土地に仮設住宅が建てられ暮らすことに難しさはなかったのかな…ゴミ拾いをしながら考えさせられました。

(総合的な学習の時間・家庭科 副読本の活用 P28~31)

【まとめ】 ○成果 ●課題

○ 今年度「かかわる」活動を中心に行う中で、児童は自分を見つめ、相手を思いやり可能な活動を主体的に考えることができた。また、これらの学習活動を通して、自分のよさやできることに気づくことができた児童がふえた。

● 来年度は、「そなえる」活動の充実を目指して計画の見直しを行いたい。また、各教科や道徳教育をはじめとする教育活動の関連も明確して、総合的・横断的な学習活動にしていきたい。